



富士河口湖町

平成21年5月14日発行 第22号

# 議会だより



(本栖ハイランド 昨年5月休日の一コマ)

## 定額給付金は地元で消費を!!

- ◆こういうことを決めました。 2P
- ◆予算特別委員会 3P～5P
- ◆ここが聞きたい 6P～13P  
だいひょう・いっぱん質問
- ◆窓・議員活動状況報告・編集後記 14P



1月臨時議会  
2月定例議会  
3月定例議会

# こういうことを 決めました。

◎第一回臨時議会を一月八日に開会。提出された河口簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）及び一般会計補正予算（第七号）の二件を審議、全員賛成で原案のとおり可決した。

◎第二回臨時議会を二月二十七日に開会。提出された一般会計補正予算（第八号）及び小曲展望広場法面防災工事請負契約の二件を審議、全員賛成で原案のとおり可決した。

◎三月定例会は三月九日に開会、会期を二十五日までと決め、提出された案件は、条例の制定五件、一部改正九件、字区域の変更一件、補正予算九件、平成二十一年度一般会計及び三十三特別会計、同意案件三件の計六十一件、請願が一件などを審議。特別会計並びに一般会計は議員二十名で構成された予算特別委員会で慎重に審議した結果、三十三特別会計は原案どおり

可決すべきものと決まり、一般会計は議員八名により、総務費賃金で三百六十万円の減額修正案が提出され、修正可決すべきものと決し、本会議の二十五日に予算特別委員長より審査内容の報告を受け、三十三の特別会計は原案のとおり可決。一般会計は全員賛成で修正案を可決。修正を除く原案も全員賛成で可決した。



▲三月定例会(議場)

条例の制定・一部改正の主なものは次のとおりで、全員賛成で制定・改正されました。

## 条例の制定

・町長の給与の減額に関する条例・情報公開条例・大嵐財産区基金条

例・介護従事者処遇改善臨時特例基金条例・ジビエ食肉加工施設条例

## 条例の一部改正

・職員給与条例・学生宿舍設置促進条例・税金例・手数料条例・介護保険条例・ひとり親家庭等医療費助成に関する条例・廃棄物の処理及び清掃に関する条例・道路法施行条例・公共物管理条例の一部を改正。

## 補正予算

補正予算は、  
○河口財産区特別会計補正予算（第二号）  
○国民健康保険特別会計補正予算（第二号）  
○老人保健特別会計補正予算（第二号）  
○介護保険特別会計補正予算（第三号）  
○後期高齢者医療特別会計補正予算（第二号）  
○下水道事業特別会計補正予算（第二号）  
○温泉事業特別会計補正予算（第二号）  
○一般会計補正予算

## （第九号・第十号）

特別会計の補正予算は事業確定による減額補正が主なものであり、一般会計補正予算の主な内容は次のとおりです。

## ○一般会計補正予算（第九・十号）

歳入は国庫補助、負担金や県補助・負担金・委託金の確定に伴うものや定額給付金事業補助金など、総額三億六千三百七十二万四千円の増である。

歳出の主なものは、財政調整金の六千万円の積み立て、定額給付金事業費として三億九千五百二十六万円、子育て応援特別手当給付事業に一千三百十七万円、町うた製作実行委員会に八十八万三千円、やまなし農業ルネッサンス事業に七十四万円、有害鳥獣駆除に六十万円、防災行政無線更新事業に四千八百三十八万五千円、全国中学校スケート大会遠征補助や特別会計への繰出金、各事業費の確定に伴う減額による補正などが主なものであります。

## ◆請願

今定例の最終日の二十五日議員発議により、全会一致で採択しました。請願趣旨 父子家庭や母子家庭を『ひとり親家庭』として平等な取り扱いとする請願

項目1 国の関係機関及び県知事に対して、父子家庭に対する経済的支援を早急に実施するよう、意見書の提出を。

項目2 国や県の実施がなされるまでの間に、町において父子家庭に対する独自の経済的支援の実施を。

## ◆同意案件

全会一致で同意しました。

## ▼長浜財産区

管理員選任同意

長浜 三浦太久美氏

## ▼西湖財産区

管理員選任同意

西湖 三浦宣一氏

西湖西三木 廣氏

## ▼大嵐財産区

管理員選任同意

大嵐 渡邊栄治氏

大嵐 渡辺三木郎氏

# 予算特別委員会

## 質疑応答

委員長 堀 内 弘 一 夫  
副委員長 三 浦 康 夫

### 各種事業を精査

### 歳出削減に取り組む

平成二十一年度当初予算は、町長の施策方針の説明を受け予算特別委員会に付託された。

委員会は、三月十二日から二十四日までの七日間に亘り一般会計及び三十三特別会計予算を慎重に審議した。

一般会計当初予算は、歳入歳出百五億四千七百万円で前年度と比較すると金額で六億六千七百万円の減額、比率で五・九パーセントの減少となっている。

主な歳入は、町税四十一億八千九百八十二万円（前年度比二・七％減）地方交付税二十億六千九百万円（一・七％増）、国庫支出金七億五百十六万円（二十三・五％減）、町債（起債借入額）は十六億二千二百一十万円（十六・三％減）

である。

主な歳出は、人件費十八億三千六百七十六万円（一・六％増）、公債費（起債償還金）十四億二千二百二十三万円（一・七％増）普通建設事業費は、十九億二百三十七万円（二十七・六％減）となっている。

主要事業は、大石福祉センター駐車場整備に二百万円、船津福祉センター改修工事に五百万円、父子手当支給事業に百五十万円、畑地帯総合整備事業二千五百万円、乳ヶ崎線建設事業に五千五百二十一万円、東側・谷抜線新設改良事業二千二百五十万円、大久保賑わい交流広場整備ほか船津地区まちづくり交付金事業六億五千三百七十万円、六首川道路改良工事・梨

川もみ公園整備ほか北岸地区まちづくり交付金事業二億八千七百八十八万円、本栖湖観光案内所耐震診断及び建築設計委託など精進・本栖地区まちづくり交付金事業二千二百七十万円、西浜小中学校屋内運動場改築工事費千万円、船津小学校東側校舎耐震補強改築工事費参百万円、船津地区公民館改修事業千五百六十万円、河口小学校夜間照明増設工事五百万円、西湖テニスコート改修工事に五百万円などである。

また、経常経費の削減とともに補助金、委託料、備品購入費なども見直し削減に努めた。なお、特別会計の審議に約二日間、一般会計は各課ごと五日間かけ審議を行った。一般会計の審議

内容については、各課ごとに一部を掲載しました。

#### 一般会計

#### 総務課関係

**質問** 職員の駐車場で、役場前駐車場に職員の駐車場で埋まっているようだが。

**答弁** 総務課長 職員は、職員の駐車場については三ヶ所民地を有料で借りている。決められた駐車場に置くよう指導を徹底していきたい。

#### 管理課関係

**質問** 船津の区制度の今後は。

**答弁** 管理課長 現在、自治会制と区制の両立でお願いしている。早い時期に区制度に切り替えていただく理解を求め、順次切り替えていく。

#### 企画課関係

**質問** 町民カレンダーに使用している写真は写真コンテストの入賞作品か。町内の観光拠点、隠れたポイントなど町内の写真を多くする考えは。

**答弁** 企画課長 富士山は全国的に知名度も高く、引き合いがものすごくある。今の富士山シリーズと合せながらやり方を検討する。

#### 税務課関係

**質問** 固定資産の評価

替えて本年度減額ですが、評価替えは土地が主な減か、建築年数による建物の減なのか。

**答弁** 税務課長 家屋については経年の補正が減率しており、土地も家

屋も減という状況です。

## 健康増進課関係

**質問** 船津温泉施設と

高齢者体力づくりセンターにおいて、歳出では体力づくりセンターの消耗品が三百万円と多い。この違いは。

**答弁** 健康増進課長

温泉休養施設の消耗品はふるさと振興財団の委託料に含めている。体力づくりセンターの消耗品は町が扱っている。

**質問** 委託料の中で、

運営は財団の人員費も含まれているのか。

**答弁** 健康増進課長

財団の職員一人、シルバーから五人の人員費となります。

**質問** 温泉休養施設は

サービスが悪いということを目にしているが。

**答弁** 健康増進課長

何回か苦情もあり、直接指導に伺ったり、財団にも注意し、お願いしているところだ。

## 福祉推進課関係

**質問** 介護慰労金の対象者は。

**答弁** 児童福祉主幹

認知症高齢者及び寝たきり高齢者を対象としている。

**質問** 介護慰労金の額

が少なく感じるが、今後どのような方針で考えているのか。

**答弁** 福祉推進課長

平成十九年までは二万円支給しており、二十年度は三万円にアップしている。今後、介護慰労金のアップは情勢を見ながらということになる。

**質問** 新しく父子手当てを支給することである

が、具体的な対象者、金額等。

**答弁** 福祉推進課長

対象者は父子家庭で十八歳以下の子を養育していること。月額一万円を支給。対象見込みとしては十世帯から三十世帯ぐらい。

## 環境課関係

**質問** 五月の連休、九月の連休、そのときの収集予定は。

**答弁** 環境課長

町民の皆様なるべく迷惑をかけないように、土曜日とか翌日を計画している。

**質問** 例えば土曜日に

収集した場合は通常の予定より回数が増えるわけで、臨時に頼んだ場合の経費は。

**答弁** 環境課長

たとえ収集回数が増えたとしても、契約金額でやるようになっている。

## 農林課関係

**質問** 富士ヶ嶺バイオ

センターの修繕費の計上がのっていないが、町は今後あの施設をどういう方法で管理していくのか。

**答弁** 農林課長

四月一日に農協が合併する。引き続き新しい農協で

の体制ではないが、詳細は結ばれていない状況である。また、予算を計上するにあたり、センターの職員、農協の職員から状況を聞いた中で計上しており、今のところ修繕がないので計上していない。

**質問** 民間業者に管理

委託する方法は。

**答弁** 農林課長

民間へ新たにという考えは農林課サイドではない。

**質問** 地産地消促進協

議会補助金の内容は。

**答弁** 農林課長

旧上九一色村が東京都中央区と交流があり、区で行なわれる大江戸祭りの会場で、町職員、振興財団職員、農協職員で、町の野菜、ブルーベリー製品、富士ヶ嶺牛乳など特産品をPRするための予算です。

**質問** 環境公益林整備

事業の内容を詳しく。

**答弁** 農林課長

民有林が相当荒れている状況であり、県が全額出して所有者のご理解

を得て間伐する事業。三百三十万円の予算の中で民有林の方々の理解を得て進めていきたい。

**質問** 町も観光という

中で、観光イベントもいろいろ開催している。今年度今までのイベント事業を執行していくのか。

**答弁** 町長

基本的には事業を継承してきたい。しかし、ある面では多少工夫も凝らす必要がある。地区の皆さん、代表者、委員会みたいな形で検討していきたい。

**質問** 西湖いやしの里

根場施設使用料総額は。

**答弁** 観光課長

総額千二百万円予定している。

**質問** ウインターフェ

スティバル実行委員会補助金の成果は。

**答弁** 観光課長

昨年の反省を踏まえて実施、昨年よりそれなりの集客があり、喜んでいただ

た。今年は昨年より減額し、金額が減る中で何とか効果をあげていきたい。

**質問** 町内各湖にライ

ブカメラが設置されているが、本栖湖は富士が見える位置に移動することは考えられないか。

**答弁** 観光課長

身延町と場所などで調整できるか協議をさせていた

**質問** いやしの里の今

後の運営形態について、採算ラインを見ながら運営形態を考えると回答でしたが、再度伺いたい。

**答弁** 観光課長

いやしの里創出事業は、地元西湖エリア全体を指す中で、地域の人たちのある程度主体的な運営という形を十分念頭に置きながら進めていく。

**質問** 道路の亀の子状

態が非常に多いなど思うが、この辺の調査は。

**答弁** 建設課関係

**答弁** 建設課長 地区の住民の方から連絡等で対処しているのが現状です。限られた予算を上手に使いながら補修している。

**質問** 道路新設改良費の公有財産購入費について説明を。

**答弁** 建設課用地担当 道路工事は、旧都留信河口湖支店の東側を四十五メートルに拡幅予定、また、小立八丁屋と西村の横線百二十メートルの拡幅工事、三階線の舗装、乳ヶ崎線の拡幅など。

**答弁** 建設課用地主幹 旧都留信河口湖支店の東側に新設道路の計画があり、その用地購入費です。面積は二百二十平方メートルを予定。

### 都市整備課関係

**質問** 地区公園整備事業の工事、桜の剪定五十万円を詳しく。

**答弁** 都市整備課長 公園内の遊歩道の両側に桜が植えてあり、枝が重

なり合っている。これを剪定するもの。遊歩道の除草は年に3回清掃して整備していきたい。

**質問** 河口湖船津地区整備事業費の公有財産購入費は、二十年度四件、今年度は十四件が対象。この状況を詳しく。

**答弁** 都市整備課長 三月三十一日までに登記が完了できるものだけ四件契約を済ました状況です。

**答弁** 都市整備課公園管理主幹 大久保賑わい広場の地権者の皆さんは、基本的には賛成で当初の計画どおり進めていきたいと考えている。

**質問** 都市計画総務費委託金の内容を詳しく。

**答弁** 都市整備課長 都市計画法に基づき五年に一度行なっている調査で、土地の形状や都市化の動向について県に報告することになっている。

### 学校教育課関係

**質問** 学校づくり事業

補助金の内容は。

**答弁** 学校教育課学校教育主幹 各学校でそれぞれ地域柄に合った独特な事業をやっており、総合的な学習の中で行なっている事業に対して、各学校に配分し使っていたにしている補助金。

**質問** 船津小学校のトイレ工事の内容を詳しく。

**答弁** 学校教育課長 悪臭がひどく、消臭剤で防いでいるが、子供に悪影響を与えるので工事を予定している。四ヶ所トイレがあるので徐々にひどい所から行なっていく。

**質問** 生活様式が洋式になっている。子供たちが健全で楽しい学校に通学できるような方法を取るべきだと思うが。

**答弁** 町長 願わくば全面的に改良できないかと考えたが、総額の予算の配分等からこのようになつた。今後、次年度に向けて努力していきたい。

### 生涯学習課関係

**質問** 船津地区公民館修繕の詳しい説明を。

**答弁** 生涯学習課長 船津地区公民館は修理箇所が非常に多く、今回の改修は、北側の建物の雨漏りがひどくそれを防ぎながら内部を改修していく。

**質問** 船津地区公民館は老朽化して取り壊しの計画があつたが。

**答弁** 生涯学習課長 取り壊しの計画があつたが、後の利用で再度検討することになった。

**質問** 船津地区公民館をどのように考え、どのように進めていく考えなのか。

**答弁** 町長 皆さんの意見を賜る中、地域の皆さんにうまく活用できる方向へ取り組む。

**質問** 子ども未来創造館の利用者が多い。喜ばしいことで、本年度の見込みは。

**答弁** 生涯学習課長 利用者は四万人に達するじゃないかと。一日百十人から百二十人ぐらいの利用です。

### 総括質疑

**質問** 二十一年度予算でまちづくり交付金事業が各課に渡つてある。会計検査の対応として竣工・完成検査といったチエック体制は。

**答弁** 副町長 まちづくり交付金事業は、土木・建築・電気・機械というように、従来の事業と若干異なり、監理、検査体制等多方面に渡っている。昨年後半から県の建設技術センター、住宅供給公社などと県との検査体制、監理体制の充実を図り、今年度は補助事業については事務費に施行監理委託等を計上させていた。

**質問** 町の一次産業、二次産業、三次産業について取り組みは。

**答弁** 町長 農業と観光が結びついた形が具体

的に必要ではないかと考えている。給食等にも当然地産地消、顔の見える食材を使う方向で進めていきたい。

**質問** 今年度予算においても多額な補助金が出ている。補助金に対して確認、検査をした中で検証したことがあるか。

**答弁** 町長 補助金は過去から継承されている部分が多分にあり、適正かどうかしっかり取り組んでいかなければならない。

**質問** 民間の力を借り、事業の仕分けを行い、補助金事業を町がやるべき事業なのか、民間に委託する事業なのか見極めの時期に来ていると思うが。

**答弁** 町長 今、行政として大事なものは、何かの事業を起こす場合、民間で取り組んで汗をかいていただく業務と、行政が実行してあとはそのままということを極力避けて、維持管理がどうなるかをしっかり考え取り組みをしている。

# ここが知りたい! だいひょう 質問

会派 新像の会

代表質問者

小川清治議員

会派代表

小川清治  
梶原義美



## 富士河口湖町 今後のビジョンを問う

### 教育

**質問** 管内の小・中学校の適正配置が審議されていますが、その進捗状況は。

**答弁** 学校教育課長

富士河口湖町小中学校適正配置審議会は、平成十九年五月に第一回目の審議会を開催し、約二年の月日を費やし、今月三月三日に十三回目の審議が開催された。年度内の答申を目標に、現在進めている。

**質問** 新設英語科小学校の設立要望が県に出ていると聞きますが、対処

は。

**答弁** 学校教育課長

県教委では、富士河口湖町内に新設英語科小学校の設立要望が提出されていないと回答があった。町内で、英語科の小学校が設置されるなら協力したいと考えている。

**質問** 緊急時の避難場所とされている船津小学校施設の耐震化について

は。

**答弁** 学校教育課長

船津小学校校舎等の耐震化について、東校舎は、平成十九年度の耐震二次診断の結果、最小IS値が〇・五であり、他の建物はおおむね安全基準である〇・七を上回っています。東校舎は特別教室として利用頻度が相当高いので、平成二十一年度に耐震補強工事を行う予定。

### 地域文化

**質問** 地域に根づいた文化で、先人の培ったものを後世に伝えることこそが、文化を絶えさせない

い手段だと考えるが、地域文化にはどのような活動があるか。

**答弁** 生涯学習課長

数多くの、伝統的な文化活動がありますが、教育委員会では、これらの活動が地域の方々に理解され、後世に伝えられるよう、文化財講座や図書館の資料として人々に紹介をしていきたいと考えています。

### 医療

**質問** 小児科医療と産婦人科医療で、緊急を要する事項が発生した場合の対処は。

**答弁** 健康増進課長

富士東部地域におけるこの救急体制は、富士吉田医師会と、富士吉田市立病院及び山梨赤十字病院が町内で発生した救急患者のうち、富士北麓地区の当番医となっている診療所が診療を行います。入院を必要とする症状、重症患者であれば、富士吉田市立病院、または山梨赤十字病院が診療を行

います。さらに、重篤救急患者である場合は、県立中央病院に搬送される体制になっています。小児については、小児科を専門とした救急体制が整備されており、富士東部地域では、昨年十月三十日に開設した富士東部小児初期救急センターと、富士吉田市立病院、山梨赤十字病院及び都留市立病院の三病院が一体となって、小児救急体制を確保しています。救急患者は、原則富士東部小児初期救急センターで受診することとなり、初期センターでの治療等が困難である場合には、三病院のうち当番病院に転送されることになっています。また、生命にかかわる患者については、県立中央病院に転送されることとなっています。



▲乳児検診

**再質問**

夜間、休祭日の小児科医療業務については、富士吉田において行われていると聞いています。日赤において、産婦人科棟の増設についても聞いていますが、両者の進捗状況は。

**答弁** 健康増進課長

小児科については昨年十月、富士北麓総合医療センター内に開設し、富士東部小児初期救急センターとして、現在開設後四カ月間が経過しました。

日赤の産婦人科病床増床の進捗状況は、昨年九月に設計管理業者が決定され、設計業者と事務手続を進め、四月以降の確認申請の手続後、現段階では秋以降の着工となる予定です。

### 環境

**質問** 二酸化炭素排出量の削減に努力した自治体に、今後国から奨励金として交付金が出される可能性が出ると思うが、そのときのための対応をどのように考えている

か。また、現時点での町の二酸化炭素削減への対応は。

**答弁** 環境課長 今のところ、国や県から交付金などはありませんが、今後、何らかの形で交付が予想されるので、十分な対応が必要と考えています。二酸化炭素削減対応は、太陽光発電の推進や、ごみの分別、削減の推進を行っています。さらに町民や事業者と協同して二酸化炭素の削減に努めます。

### 町の生産

**質問** まちづくり交付金、合併特例債の有利なものを使い、すべての生産の活性を図ることが急務だと思いが、その考えがあるのか。

**答弁** 町長 観光業の発展が、町の生産発展につながる。建設業、土木業については、資格の範囲内で法令を順守し、地元業者が受注できるように考えていきます。企業誘致は、あきらめず情

報を収集し、さらに誘致に向けていきたいと考えている。

**再質問** 町長が日頃言っている観光トップセールスですが、いつごろから始められるかを伺いたい。

**再質問** 町長 トップセールスは、私自身、観光協会の皆様方と共に計画をしっかりと立て、前へ向かって取り組んでいきたい。

**再質問** 公共事業も前倒しをしながら、生産性を高めることも1点だと思えます。それに関して。

**答弁** 町長 公共事業に関しては、従前から計画されている事業を着実に完了させるということを目的に取り組んでいく。

### 機構改革

**質問** 行政生産においても、機構改革を行い、経費削減を図ることを町民は期待しているが考えを。

**答弁** 町長 機構改革については、庁内の各課職員で構成される事務合理化委員会からも具体的な形で提案を受けている。こうした内容も十分考慮して実施していく。

**再質問** 機構改革で、町長10%のカットだけでなく、経費の削減をしながらはならないと思うが。

**答弁** 町長 機構改革の必要性を本当に理解いたしており、この定例会等が済んだ中で、しっかりと把握し、取り組んでいく。

### 関連質問



美原義子 議員

**質問** 本年度に英語助手を1名増員して3人体制で取り組むと言っていますが、この3名だけで2年後の完全実施に対応していけるのか。

**答弁** 教育長 今、町では中学校へ2名のALT、それから1名増員していたら、3名いる。今の段階では実施できる体制になっていると考えています。

**質問** 小児初期緊急センターについて、答弁を聞く限り、二十四時間体制ではないように思われるが、どのような時間体制になっているのか。

**答弁** 健康増進課長 平日夜間は、午前八時から二十四時まで、それから土曜日は、午後三時から二十四時、休日は、午前九時から二十四時までということですが、それ以外には、甲府市の医療福祉会館にありますが小児初期救急医療センターで十二時から朝の七時までの対応となっています。

**質問** 本年度増築工事が計画されている、日赤

建築工事を地元業者に発注してもらえよう、町長を筆頭に町全体で、日赤病院へお願いすべきだと思いが、町長のお考えは。

**答弁** 町長 当然、町の業者に請負ってほしいというのが基本的な願いであり、運営審議会の会議の中でも発言をいただいています。再度意を強く取り組んでいく。



用品のリサイクルでは、既に使えるものは使うように行っており、保育所とか学校給食における地産地消は積極的に進めていきたいと考えている。

また、通勤の相乗りや、また近くの方は徒歩とか自転車通勤を要請していきたい。屋上緑化も、積極的に進めていき、庁舎内の電気の使用は、昼間は各階において必要最小限に明かりを残して、あとは消している。町民に対しては広報等で、呼びかけたいと思っている。

**再質問** 太陽光発電には、補助金等がついているが、二酸化炭素削減の観点からいろいろな問題に広げていくというようなことを考えは。

**答弁** 環境課長 太陽光発電については、平成十九年の七月から行っています。そのほかにエコキュートとか、環境にやさしい製品等がありますが、今後の状況等を確認しながら対応していきたい。

代表質問者

渡辺余緒治議員

会派代表

高山 泰治  
外川 正純  
三浦 康夫  
渡辺余緒治



## 新年度の

## 取り組みを問う

# ここが知りたい! 質問 だいひょう

### 決算から予算への

### フィードバック

**質問** 決算は行政評価の観点から重要であり、次年度の予算に反映させてこそ意味がある。平成十九年度決算からの課題、問題点、指摘事項を二十一年度当初予算にどの様に反映したのか。

**答弁** 総務課長 昨年度まで、右肩上がり度で推移してきた当町の税収も、平成二十一年度予算は前年比で一億一千万円余りの減額となり、限られた予算の中、町民の生活に重点をおいた予算と

なった。まちづくり交付金事業は仕上げの時期となり、事業内容を見直す中で予算配分し、合併後の基盤整備を行なっていく。決算認定審査において出された、意見・要望を踏まえ、指摘を十分認識する中で、何が優先すべき課題であるか慎重に検討しつつ執行に努める。

### 公有施設(財産)の

### 有効利用・活用

**質問** 公有施設(財産)で未使用或いは低利用の施設の有効な利用方法として、民間への貸し出しを検討すべきと考えるが見解は。

**答弁** 管理課長 公有財産は地方自治法上、「行政財産」と「普通財産」がある。「行政財産」は、庁舎・学校等の公共の建物で、その用途・目的を妨げない範囲で、利用を許可する事が出来る。旧町村の庁舎の一部は、町民の利便性や福祉の向上のために貸し出し、活用されている。

「普通財産」は、貸し付け・交換・売払い・譲与もしくは私権を設定することが出来る。町では公有財産を適正に管理するため「公有財産規則」「行政財産使用料条例」を定めている。また、未使用或いは低利用施設で民間等に貸し出しが可能な施設は、公有財産の有効活用と新たな財源確保の方法として調査・検討をしていく。

**質問** 「西湖いやしの里根場」の入場者と基金は。また、グランドオープン後の運営形態は。

**答弁** 観光課長 平成二十年度の入場者は、前年比三十%増の二十三万人(内町民約千三百人)が見込まれ、基金は平成十九年度末で八百四十一万六千円、二十一年度は六十一万円積み立てる。今後の運営は、当初の計画である「公設民営方式」で、建物やインフラは町が整備し、管理運営は地区住民を主体として設立する運営組織が行なう計画である。

**質問** 「かつやま道の駅」は、芝生を有する河口湖

畔の親水公園でもあり、大きな可能性を秘めた町直営施設である。今後の運営を含めての施策は。

**答弁** 町長 一階を物産の販売、二階はレストランとして営業しているが、増築も絡め、施設整備と運営形態の検討もしていく。

**質問** 「八木崎公園」は、多くの町民が、散歩・ウォーキング等で、安らぎの場として利用しているが、今後の整備計画は。

**答弁** 町長 八木崎公園利用者から、安全の為に防犯灯設置の要望も届いている。維持管理のあり方について、地域の方々の声を尊重し快適な公園利用が出来るように取組んでいく。

**質問** 「タラソセラピー施設」の利用者が非常に少なく、今後の運営を検討すべきと考えるが。

**答弁** 健康増進課長 タラソ棟は、二年前、特殊の「二倍海水・十倍海水の湯」。「塩を敷いた岩盤浴」でオープンしたが、塩を敷いた岩盤浴に衛生上・運用場の問題があり、今は塩を取り除いた

た岩盤浴としている。指摘の通り利用者が少なく、試行期間(四月～六月)を設け、施設使用料のみで利用いただき、多くの町民の声を聞き、利用料を含めた利用形態や運営を検討していく

**質問** 「河口湖ステラシアター」は、可動式屋根が設置され、完成した施設となり好評を得ている。そこで、日頃お世話になつてい

るボランティア(サポーターズクラブ)の協力を得ながらの「指定管理者制度」の導入を提案しますが見解は。

**答弁** 町長 ステラシアターは、町の直営施設として全国的に高く評価(総務大臣賞を受賞)されている。「指定管理者制度」は、



▲河口湖ステラシアター(オペラ)

現在の世界的金融恐慌と言われる厳しい状況の中で、経費節約・節減の面からは有効な手立ての一つだが、文化の質的向上や地域のつながり、また事業の継続性等を考慮し、関係する皆様方の意見を頂きながら研究課題として取り組んでいく。

### 公共施設等の耐震化促進の対策

**質問** 学校の校舎・体育館等で耐震工事が未完了の施設の耐震計画は。また、各地区の保育所は。

**答弁** 学校教育課長 町内の小中学校の中で、昭和五十六年五月以前に建設された施設は、平成十九年度までに第二次耐震診断を行なっている。

結果、船津小東校舎・西浜小中体育館・富士豊茂小体育館・上九一色中体育館はI S値（耐震強度値）が基準より低く、耐震補強工事を実施しなければならぬ施設となっている。  
教育委員会では今年一月「公立学校施設耐震化

促進計画」を策定し、平成二十一年度船津小東校舎の耐震補強工事を予算化した。計画では、平成二十二年西浜小中体育館、二十三年度富士豊茂小体育館、二十四年度上九一色中体育館の耐震補強する予定となっている。

**答弁** 福祉推進課長 町内保育所で、昭和五十六年以前に建設された施設は、全九施設の中で小立保育所と船津保育所である。

二施設の耐震診断をした資料が確認できず、平成二十一年度予算で耐震診断を行ない、必要であれば補強工事をする。

### 富士山世界文化遺産登録に向けて

**質問** 「富士山世界文化遺産登録」が延期された状況の中、登録に向けた取組みと今後の方針は。

**答弁** 企画課長 「湖」について、文化庁・山梨県・地元市町村で統一見解が出されていない。いま文化庁との詰めを行っているところである。

山梨・静岡両県の「二県推進協議会」と「学術委員会」の定める指針に沿って進めていく。  
町としては、登録は延期されたが、平成二十二年七月までに実務をこなし、その都度必要に応じて町民の皆様説明していく予定である。



▲IVVオリンピアドプレ大会

### IVVオリンピアドへの取組み

本年五月十四日～十七日までの四日間、当町をメイン会場に開催されるウォーキングの国際大会「第十一回IVVオリンピアド」が「富士河口湖町を全世界にPRし、アピールする場」として、盛大な祭典となるよ

う願います。

**質問** 参加申込者の現状と宿泊施設の確保、外国人への言葉の対応は。

**答弁** 生涯学習課長 参加申込者数は、三月六日現在で七千二百七十一人（外国人五百八十八人・国内五千八十三人・地元千六百人）であり、三月に入ってから申込者が増えている。宿泊は、町内を始め近隣市町村の宿泊施設に配宿している。

外国人参加者への言葉の対応は、山中湖会場含めて通訳ボランティアの方々六十二名で対応する。

**質問** 大会の運営予算と、運営スタッフ・ボランティアは。

**答弁** 生涯学習課長 大会予算としては、七千五百万円程である。地元企業を中心に協賛金九百万円、また補助金としては、山梨県・日本市民スポーツ連盟・富士五湖広域行政事務組合・関係市町村等から三千六百五十万円が見込めそうである。

スタッフ・ボランティアは、四日間で延べ約二千人となる。

### 関連質問



外川正純 議員

**質問** 八木崎公園の将来計画と、ハーブフェスティバルのイベント改革は。

**答弁** 都市整備課長 今のところ八木崎公園の計画はないが、関係各課と共に、維持管理も含めて地元の方々と相談し進めたい。

**質問** 観光課長 イベントのリニューアルもしていきたいと考え、平成二十一年度は二十二年度に向けて、イベントのあり方について正式に協議していく。



三浦康夫 議員

**質問** 小中学校の耐震計画を伺ったが、平成二十三年度までに耐震工事を実施すれば、国から有利な交付金・補助金と

して財政措置されるが、前倒しできないか。

**答弁** 町長 全国的に、他の自治体も同じ苦しみを抱えている。国の動向を見定めた中で、町の財政・公債費等を総合的に判断した上で検討する。



高山泰治 議員

**質問** 「西湖いやしの里」運営の見通しと、もつと生活色を取り入れる工夫をすべきと考えるが、見解は。

**答弁** 観光課長 収入の根幹をなす部分が未確定であり黒字の見通しを立てる状況ではない。まさに、茅葺集落は本来そこに暮らしがあり、生活感が欠かせないので今後の目標としていく。

**質問** 河口湖北中学校の液化化現象に対する耐震診断は。

**答弁** 学校教育課長 昭和五十六年以降の建物で耐震診断はしていない。建物の状況は承知しているため、今後行なうべきと考えている。

# ここが知りたい! 質問 だいひょう

会派 富士四湖の会

代表質問者

堀内弘一 議員

会派代表

堀内 弘一  
倉沢 鶴義  
古谷 芳信  
渡辺 袈裟一



## 景気対策の取り組むと 観光課題を問う

給するののか。

**【答弁】** 企画課長 急激

な経済環境の中、家庭への緊急支援としての効果をより迅速に実現し、かつ減税方式では効果の及ばない所得の低い方々にも広く公平にいきわたらせるため、定額減税の理念を生かしつつ、実施の迅速性の観点から給付金を支給する方式になったものである。定額給付金の基準日については、平成二十一年二月一日時点の住民基本台帳登録者の、日本国民及び外国人である。町においては二月二十七日の臨時議会において事務費が認められ、三月二日より作業を進め、少しでも早い時期に支給できるように努める。町民には広報で申請用紙の配布についての説明、協力の依頼を掲載した。

### 定額給付金の支給日は

**【質問】**

定額給付金は大月市他十市町村が三月下旬、南アルプス市他三町村が四月上旬、北杜市他四町村が四月中旬、県内三分の一が四月中旬までの支給が確定している。町民の多くも早い時期での支給を望んでいる。町長と担当課と調整する中で、四月中旬前に支給するべきと考えるが、どのように考えているのか、また定額給付金の支給の目的、趣旨についても町民にどのように説明し支

### 若彦トンネルからの湧水の活用

**【質問】**

念願であった若彦トンネルが昨年八月に

貫通し、完成に向けた工事が進行し二十二年三月に供用開始と聞いている。若彦トンネル工事により多量の水が湧出しました。一部は大石簡易水道で使うことになりましたが、その後の水を農業用水として活用したいと要望してきたが取り組んでいただけの用意があるか。

用できればと考えている。

### 河口湖北岸の拡幅工事の取り組みは

**【質問】**

大石地区湖畔県道は歩道もないセンターラインもない狭い県道であり整備をお願いし、湖畔側に歩道を付けた道路として計画が進行している。両側に歩道を付けた道路にしてほしいという要望が多いが、町も調整し地元の要望を県の方に働きかけていただけの用意があるか。

大石地区湖畔県道は歩道もないセンターラインもない狭い県道であり整備をお願いし、湖畔側に歩道を付けた道路として計画が進行している。両側に歩道を付けた道路にしてほしいという要望が多いが、町も調整し地元



▲若彦トンネル視察

**【答弁】**

農林課長

水の

活用は大石簡易水道で使い、残りは県で新しい道路に沿って流路を設け、三百五十メートル下の節待川の横に小規模発電施設を設置し、水力発電に利用する予定と聞いている。町としては、県吉田支所、町建設課と協議する中で農業振興に活

### 情報基盤整備について

**【質問】**

富士ヶ嶺地域は

電波が悪く難視聴地域となっている。合併後の目的である格差是正の為に今後どのような対応を考えているか。

**【答弁】**

企画課長

情報

通信の民間企業にも働きかけてきたが、面積が広大の割には戸数が少なく、採算制の面から進展を見ない、格差是正を町

として取り組んできた。経費の膨大さゆえに、研究に時間がかかっている。

二十一年度に設計を計画してきたが、国の財政状況、町の財政基盤、町の事業化による効果等、

また、当初計画していた上九一色南部地域の一括計画など協調受信組合等の活用など、まだまだ研究する余地があるのではないかということで、国の政策等も変わってきており、交付金自体もここである新しい芽が出てきていることもあり、いま一年時間をかけさせていただき、デジタル化に合わせて完全実施に向けて努力する。

## 関連質問



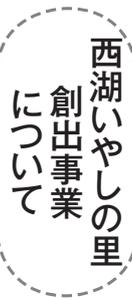
渡辺 装一 議員

**質問** 情報通信基盤整備について町の対応に期

待しています。上九一色地域は町の情報を広報や回覧板などの文章でしか得られない状況であり、

早い情報といえは防災無線だけです。今後の計画について町長はどのような考えに対応するのか。

**回答** 町長 基本的には二〇一一年に何とか間に合わせるといふことで考え、期限内到達は必ず成し遂げる方向で取り組んでいく。



**質問** 当初事業の背景の趣旨を踏まえ、目的達成の為、住民と執行部との話し合い等、その問題点を課題などを解決していく考えはあるか

**回答** 観光課長 地域とのかかわりが、希薄であったが、昨年十月、二度の懇談会で問題点、課題点が明確になってきた。

二十一年に建物もすべて完成。事業の性格の中

にも管理運営は地区住民を主体とした運営組織が行う計画であるとうたわれている。西湖いやしの里創出事業計画の原点に立ち替わり、地域住民の皆様と懇談の場を作りながら協議していききたいと考えている。



▲西湖いやしの里



古谷 芳信 議員

**質問**

いやしの里の事業方針は根拠西湖の観光入り込みを増加させる仕組みと地場産業の育成であり、事業の性格は、地

域住民の意図、要望を形にしていくのが目的である。

通行止めや進入禁止と、住民は大変不安と疑問を持っている。いやしの里花広場は当初より事業背景の目的とかけ離れている。今後どのように維持管理するのか、町長は住民の目線、住民の対話を政治信条にされているが、諸問題を解決にどのように考えているか。

**回答** 観光課長 いやしの里花広場は、アシの生育の強さ、絶滅危惧種の件もあり地区の区長さんとも協議しアジサイを植栽していただき、今後についても、アジサイを沿道に植栽することを基本に周辺の環境整備を行なっていく考えである。

**質問** 町長 昨年後半二度ほど住民との懇談をし住民の意見も受け止めている。今後内容を精査した中で一定の方針を出し住民の皆様と共に設計を組んで取り組んでいく。

**質問** いやしの里の家

賃の滞納があると聞くが、今日現代の家賃の滞納額はどの位になっているのか伺いたい。

**回答** 観光課長 三施設ありましてあわせて一千二百万円です。



倉沢 鶴義 議員

**質問** 町長それから副町長、先ほどの代表が質問している内容と異なった回答に感じられます。本年度より平成二十五年までに行う予定の、合併特例債に基づく新町建設計画の事業債十八億四千七百二十万円の事業が計画されております。

当初予算審議でありませんが、景気の後退に、歯止めをかける為にも、六月定例会に向けて、補正予算等で対応し建設計画に基づく事業の前倒しをしていただけないかと伺っているわけです。用地交渉もあり、町の交付金との整合性もあります。

が、各担当課と最終調整を行い一つでも、前倒しをして景気対策を行って下さいという質問をしているのです。町長、副町長回答をしてください。

**回答** 副町長 予算計上するのはたやすければ名目だけでなく実質的な形をとるには、執行体制を、きっちりしていかなければ、遅れるばかりです。体制そのものをきっちりやって、できるだけ当初予算を見据えた中で必要なものはどんなやっていきたいと考えている。

**質問** 町長 今後の動向等加味した中で、いわゆる状況、情勢判断をしながら取り組んでいきたい。そういう意味で、先

ずは年度内予算を執行すること。できるだけ消化することを前提にし、その後はこれからの動向、状況を見極めて取り組むか否かを検討していきたい、いわゆる景気後退にはなく、前向きな姿勢で取り組んでいきたいと考えている。

# ここが知りたい! 質問 だいひょう

会派 新政和会

代表質問者

渡辺 一正 議員

会派代表

駒谷 隆利  
熊谷 義行  
渡辺 一正  
武彦



## 町の滞納整理及び 福祉政策は

財源確保のため具体的政策は。

### ソフト事業

質問 当初予算にどの

ようなソフト事業が新たな施策として盛り込まれているか。西湖いやしの里根場はグラウンドオープンを迎えるに当たり、自然資源、地域資源の有効活用が進むとともに、地域発展につながると思われているが、今後のソフト事業を具体的に。

### 福祉政策は

質問 各保育所の定数

と申し込み状況。また、希望した施設から違う施設になった事例はあるか。船津保育所と小立保育所は規模も大きく、入所者もふえているので、適正規模の保育所として再構築をする考えがあるか。また、福祉のまちづくりを推進する中、弱者障害者の窓口対応は。

### 町内の産業育成

質問 実態経済の落ち

質問 町税の滞納額は、十九年度決算で5億五千六百五十二万。貴重な財源が徴収されないことは税負担の公平性を欠くものである。本年4月末現在過去三カ年の徴収の滞納繰越分、徴収額と徴収率並びに未収入額の比較は。入湯税は特別徴収義務者が預かって一ヶ月おくれで申告により納付。特別徴収義務者の申告おくれや未申告・未納付と納付の遅れはあるのか。また、入湯税の滞納と滞納額は。当初予算において徴収の確保と

込みにより、産業への影響があらわれ、経済が縮小の方向へ進んでいるが、関係者の英知を結集し地域政策を打ち出す時期で、商業、観光、農林水産業、畜産業、製造業、工業などの合併時の建設計画に基づいた産業基盤を充実させるための施策を着実に実行すべきと考えるが、町内の産業育成のために多様な課題に対する専門性を持った人材を育成する必要があり、人脈、情報などのネットワークを構築し、人材育成を含めた中で産業育成にはどのような施策をもって実施するのか。

滞納繰越額一覧

年度	滞納繰越額	収入額	収入率
18	521,497,120円	75,430,663円	14.46%
19	551,396,600円	85,253,283円	15.56%
20	556,522,836円	62,354,754円	11.20%

【答弁】 税務課長 過去三カ年度の滞納繰越分の

徴収額と徴収率及び収入未済額は表のとおりです。入湯税は若干おくれながらも申告し、納めていただいていますので、徴収が不可能となった事業は、過去に倒産、経営破綻、の一件です。入湯税は申告納付制であり、特別徴収義務者に対してさらに正しい申告方法での指導を強化していきたい。

【答弁】 福祉推進課長

各保育所の定員と申し込み状況については次のとおりです。

管内保育所入所状況

保育所	定員	入所予定者	保育所	定員	入所予定者
船津保育所	300人	241人	勝山保育所	120人	105人
こもも保育所	100人	55人	足和田保育所	80人	35人
小立保育所	180人	142人	精進・本栖保育所	40人	9人
大石保育所	60人	33人	富士ヶ嶺保育所	40人	20人
河口保育所	80人	57人			

町の保育所の定員は千

名で入所予定児童数は六百九十七名です。全員が希望の保育所へ入所できている。保育所の適正規模は、船津保育所は、マンモス保育所ではあるが、数年横ばい、小立保育所も、未満児保育を拡充はしたが、昨年比プラス1の状況。一方、北岸、足和田、上九地域は、定員より大分少ない状況。現時点での保育所は現状の規模で問題はないと考えている。

高齢者、障害の方の窓口対応は、カウンターから出て椅子を勧めたり、プライバシーに関する内容の場合は相談室を利用して丁寧に対応して。移動が困難な方については、訪問や同行といった対応もしている。民生委員さんにそれぞれの地域と役場とのつなぎ役となっていたらいい。

生活保護世帯はここ三ヶ月増加しているが地域の民生委員さんと相談しながら対応している。

【答弁】 町長 財源確保の対策は、現況の社会情勢の中では大変厳しい状況。地方税滞納整理推進

機構に職員を配置し、滞納を少しでも減らす形で取り組んでいる。

財源確保としては、国、県の施策に期待感もあり、アンテナを高くして、補助がいただけるよう努力していく。

ソフト事業は、情報の共有や町民参加などの仕組みづくりといった目に見えないソフトの側面もまた大変大事であると感じ、情報公開条例の施行も具体的なソフトの一つであると考えている。

町内産業の育成は地域的な視点を持った解析力や行政と産業界との調整、協議能力をあわせ持つ有能なボランティアグループやNPO法人等を活用した地域横断的な新たな連携施策の展開も必要と考えている。観光と絡めた他産業との地域連携を強化することによって、町の特性を生かした地産地消型の産業発展を積極的に取り組んでいきたい。

**再質問** 滞納整理の目標値と、保育所の耐震診断結果後の視野。産業育

成で具体的に何をどうするか。業種、地域、特色を生かしながら主産業である観光につなげていく、観光からまた農業へ、商業へつなげていくこの点は。

**答弁** 税務課長 現年度分は前年度分の〇・五%持ち上げる目標を定めている。滞納繰越分も前年度の実績徴収率の1%から4%の範囲の中で上げていきたい。滞納繰越分を一億は縮減するというのが目標となっている。

**答弁** 福祉推進課長 船津保育所は老朽化し耐震診断を計画している。結果を見て検討をした。

**答弁** 町長 本栖ではキノコの栽培等を自主的に行っているところもあり、広い目で、地域住民の皆さんとともに、ご意見が出たところで決断をしたい。現在、こういったことの取り組みに関しては、キノコ栽培等も地の方が自分で汗をかいて取り組んで、何とか立ち上げてきたと。ジビエ等今後の維持管理等は関係

する皆様方で取り組んでいきたい。事業を展開し、盛り上がったものから取り組んでいくような形態で取り組んでいきたい。

### 関連質問



高橋 隆利 議員

**質問** 優良企業を誘致することを最重要課題として取り組むと答弁されたが、工夫された点と今後の対応や若者の農業離れの対応についての考えは。

**答弁** 町長 足を運んで取り組むべきでしたが確保できなかったという状況です。また、こういう経済状況になって萎縮があるかもしれないが、勇気を持って前へ向いて取り組んでいきたい。農業振興は、農業等も観光と関連づけることが必要で、お知恵を借りる中で取り組むをしていきたい。

**再質問** 中山間整備事業についてただ困難ということではなく、この事業は国と県が85%補助という事業で前向きに考えただくことを最後に提言したいと思うが、その点については。

**答弁** 町長 これからの方向について私なりにさらに精査していく中で、取り組めるべきことはしっかりと取り組んでいきたい。

**質問** 上九一色地域審議会で、精進地区の温泉ボーリングについて町から直営方針に対する説明があったが、リスクが係る直営以外の可能性は。



熊谷 義行 議員

**答弁** 町長 町での形態というものとレベリングをしなければいけないという部分があるので、ご理解を賜りたい。

**質問** ふん尿処理施設パイオセンターの管理委託の問題で合併農協と交

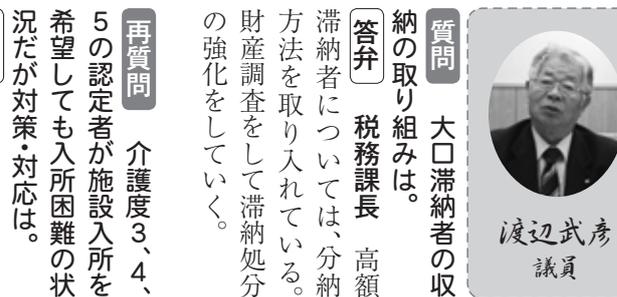
渉が続いているが、難しい状況であると聞いています。今後町はどういう方針で運営していく考えなのか。

**答弁** 町長 何らかの整備をしなければいけないことであり、責任ある行動は起こすべきだと思っている。ご理解を賜りたい。

**再質問** 社会情勢の不況の中で、農林業に対する価値観が見直され、輸入食品による安全の問題もあり、国内生産の農産物に対する意識が高まってきた。供給と需要の問題で状況調査をしていく考えがあるか。

**答弁** 町長 観光が基幹産業で、地域の皆さん方がこういうことへ力を欲しいというふうな声をちょうだいできればと思っている。キノコの栽培の事例を出させていた方がいいけれども、地域の皆さんが盛り上がっているところが大切な思っている。

**再質問** 介護度3、4、5の認定者が施設入所を希望しても入所困難の状況だが対策・対応は。



渡辺 武彦 議員

**質問** 大口滞納者の収納の取り組みは。

**答弁** 税務課長 高額滞納者については、分納方法を取り入れている。財産調査をして滞納処分の強化をしていく。

**再質問** 保険課長 施設入所者の待機者は把握している。施設入所についてはケアマネージャーに相談しながら入所できるようにしている。

**答弁** 町長 町内で施設の申請もあり、内容を把握して検討し、総合的な判断を決定する時期にきている。

**再質問** 二次産業の取り組みは。

**答弁** 町長 一年経験した中で、取り組みが遅いと感じている。効率よく早めに経済状況を理解し、変化を見て取り組む。

1月

- 5日 富士河口湖町安全祈願祭(河口浅間神社)
- 8日 議会運営委員会、第1回臨時会、全員協議会  
上九一色地域振興審議会
- 9日 山梨県町村議会議長会新年後例会(甲府市)
- 11日 第6回成人者の集い
- 13日 大石地域振興協議会
- 14日 地方の元気回復対話交流会(甲府市)
- 15日 議会だより特別委員会(議員控え室)
- 16日 自治会長・区長懇談会(コンベンションホール)  
議会だより特別委員会
- 22日 船津公園墓地審議会・船津財産区管理会
- 26日 山梨県山中湖忍野富士吉田線整備促進連絡協議会(富士吉田市)
- 28日 新春経済講演会並びに新年賀詞交歓会
- 29日 議会だより特別委員会

2月

- 2日 町営住宅入居者選考委員会
- 3日 町村議会議長・副議長・委員長研修会(甲府市)
- 9日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会(甲府市)
- 10日 青木ヶ原衛生センター組合議会  
青木が原ごみ処理組合議会  
世界文化遺産登録研究・検討特別委員会、全員協議会
- 11日 富士山世界遺産登録山梨県シンポジウム
- 12日 南北都留郡町村議会正副議長連絡協議会行政視察研修(葉山町)
- 13日 南北都留郡町村議会正副議長連絡協議会行政視察研修
- 16日 上九財産区管理会、船津財産区合同会議、小立財産区合同会議
- 17日 老人大学終了式、船津地区水道審議会
- 19日 第6回町村議会議長会、大石水道審議会
- 20日 勝山地区財産区管理会、小立地区水道審議会、勝山地区水道審議会
- 22日 富士山・河口湖映画祭表彰式(勝山ふれあいセンター)
- 24日 河口地区水道審議会、広域議会運営委員会・本会議
- 25日 平成20年度甲府笛吹富士河口湖富士吉田線促進期成同盟会総会  
河口財産区管理会
- 26日 第4回高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会  
足和田水道審議会、足和田財産区管理会
- 27日 議会運営委員会、第2回臨時会、上九一色水道審議会
- 28日 心身障害者交流の集い

3月

- 3日 議会運営委員会、ジビエ料理試食会
- 8日 富士河口湖町生涯学習推進のつどい
- 9日 3月定例会(開会)~25日(閉会)
- 12日 12日から予算特別委員会(12,13,16,17,18,23,24日の7日間)
- 11日 管内中学校卒業式
- 19日 管内小学校卒業式  
船津公園墓地管理会
- 25日 管内保育所退所式
- 26日 福祉の集い
- 27日 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会  
障害福祉計画策定委員会
- 30日 湖南中学校議会

議会を傍聴しましょう!!

次の定例会は6月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。



味覚を  
楽しむ町に

旧上九一色村南部が合併して早や四年、本栖地区でも町のご理解とご協力ご支援をいただき、今年『きのこ森事業』と『ジビエ肉

加工事業』を立ち上げることができました。本栖では、昔から『キノコ』の原木栽培を行なっています。手間のかかる原木栽培ですが、豊かな自然の中で育った『キノコ』は安全で安心していただける自慢の品です。中でも、大きく育ったナメコはツルっとノドごしも良く、汁物の他、天ぷらや混ぜご飯に最適です。また、椎茸は香り



が良く肉厚で歯ごたえがあり、色々な料理にお薦めできると自負しております。この椎茸が野生の鹿の大好物であり、被害が年々増加していく中で、被害の防止と鹿肉の有効利用から、食用として地域活性化につなげたいとの思いが強くありました。

今年三月三日、ジビエ(狩猟肉)フェアが開催され夢の第一歩がスタート。スパイシーカレーや竜田揚げ、マリネ、クンセイなどを提供することができ、この上ない喜びを経験できました。今後も、安全で安心な本物の食材を使い町内外の多くの人々に味覚を楽しんでいただく、夢と希望が持てる富士河口湖であることを、皆さんと共に分かち合えたらと願っています。

滝口雅博

編集後記

富士河口湖町議会第一回定例会は三月九日より二十五日まで開催されました。代表質問も四会派が質問し六時間になりました。上九一色南部地域と合併し、富士山と四つの湖を持つ、新生富士河口湖町が誕生して一年半となり議会だよりも二十一号となりました。今回はページ数を増やしての発行です。新年度事業、景気対策、予算修正案と議会も町民の付託にこたえよう誠心誠意議会活動に取り組んでいる様子を、一読ください。

議会だより編集委員一同



▲出初